

今回の体育部報では、今年度60歳を迎えられた6名の体育部の先生方にお言葉をいただきました。

襷をつなぐ

岡崎市立六ツ美中学校 伊澤 勉

え方の 光のどけき 春の日に 静心なく 花の散るらむ 紀友則

体育教師となり、36回目の春を迎えます。多くの別れと出会いがありました。様々な思い出が去来します。苦しいことも悲しいこともありました。しかし、体育教師として後悔はありません。今、清々しい気持ちでここにいます。これも、背中で進むべき道を示してくださった先輩や、共に切磋琢磨した仲間のおかげです。心から感謝しています。最後に私が体育教師として常に心掛けていたことをお伝えすることで、後輩の皆さんに襷をつなぎたいと思います。

『感性豊かな体育教師であれ』：若い頃、憧れの先輩が何人もいました。無骨でありながら独自の指導方法で子供をやる気にさせるその姿に、大いに魅了されたものでした。それ以来、体育教師として感性や感覚というものを大切に、感性を磨くよう努めてきました。

『情熱と気概をもった体育教師であれ』：子供は真剣に対峙してくれる教師を待っています。情熱と気概をもった教師こそ、子供の心に火をつけられるのだと思います。

『自分らしさを貫く教師であれ』：最後に行きつくところは自分らしさだと知りました。飾ることなく自分らしさを存分に発揮してください。それが自分を一番輝かせる方法です。

春が来るたび、桜を眺めながら皆さんを思い起こすことでしょう。今まで本当にありがとうございました。少し離れたところから皆さんを応援しています。頑張ってください。

心残りなこと

岡崎市立形埜小学校 清水 佐知子

この4年間、多くの先輩方や仲間が、体育部の会に限らず、学校、親しい仲間との「惜別の時間」をもつことさえならず、去られました。直属でお世話になった方々ばかりなので、心残りです。

私が出会った先輩方は、皆一見厳しいイメージを抱かれる存在でありながら、子供からは絶大の信頼と人気があり、同僚からも頼られる「憧れ」の方ばかりです。集会では前に立つだけで空気がピンとはる。レクリエーションでは、子供の笑顔のためなら全身全霊、率先して盛り上がる。他人の学習指導案を、(日をまたごうとお構いなしに)とことん助言する。体育大会当日、まだ太陽も出ていない早朝(誰にも見つからぬように)こっそりトンボをひっぱり走路の整備。総体行進練習では一番に運動場に出て、子供を待つ。熱い語りとの的確な言葉にいつの間にか、一糸乱れぬ感動の行進に変わる。合唱コンの練習では、歌唱指導はさておき、モチベーションアップのために「あの手この手」でとことん向かう。部活動では、「いいチームがある」と耳にすれば、即、門をたたく。たとえ、任された種目が専門外であっても、子供に勝利の喜びを味わわせたいと勉強し、専門家をも越えてしまう。これらのことは全て真似しようと試みましたが、思うようにいかないことばかりでした。部活動といえば、新任で任されたのは、苦手種目である体操の顧問でした。技術指導どころか生徒指導もままならない私に大先輩の深津先生・櫻井先生が「子供を連れて練習においで」と声をかけてくださいました。バスケットボール部顧問の時も、専門でありながらも空回り指導の私を多くの先輩方が支えてくださいました。おかげで監督の楽しさも味わうことができました。同じ姿を後輩に示すつもりでしたが、やりきれずに幕を引くことが心残りです。最後に体育部の先生方が憧れの存在として活躍されることを願っています。

笑顔が分かちあえる場所

岡崎市立山中小学校 保田 眞美

38年間の教員生活の区切りを迎えて、たくさんの先輩や同僚に支えられて今があると、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。「体育っていいよね。『好き』から始まるから」新任で赴任した中学校で新任4人(国語・社会・理科)、授業で悩んだり、学級経営で行き詰まったりしていた時期の雑談でした。「わーい、体育だ」と笑顔いっぱいに走ってグラウンドに出ていく子供たちを見て、どれほど「好き」のアドバンテージを生かして今まで子供たちの前に立てていたかと、ゴールを目前に振り返ってみると反省することばかりです。

中学校勤務が長かったので、体育≒生徒指導(女子指導)という役割を担うことが多く、そういう時代だったと言えばそれまでですが、自分の力のなさに落ち込むことばかりでした。しかし、苦しくも楽しく居心地のよい場所に、目指す先輩方や共に力を合わせる仲間がいて、失敗や愚痴も笑顔とともに明日のエネルギーに変えることができました。また、部活動の指導は教員生活の多くの時間を費やしました。そこで出会えたいくつもの感動は、教師冥利に尽きるものでした。体育教師として燃えるものであった部活動も今後大きく形を変えていきますが、そこには「運動大好き」「〇〇みたいになりたい」と前向きな思いをもつ子供たちが集まります。その礎となるものが体育の授業であると思います。ぜひ笑顔があふれる楽しい授業づくりに力を尽くしてください。

「野球しようぜ」と子供たちに夢を与える大谷選手から届いたグローブ、笑顔いっぱいに授業に取り組む岡崎の体育教師、子供たちに与える影響力は大谷選手に勝るものだと思います。子供たちの一番近くで「あこがれる大人」が先生方でありますように、子供たちと笑顔いっぱいに岡崎の体育を盛り上げていていただきたいと思います。私にとって笑顔が分かちあえる場所が岡崎の体育部でした。岡崎の体育教師として皆さんと出会えて幸せでした。ありがとうございました。

これからの体育の先生

岡崎市立奥殿小学校 太田 勲

私は運のよいことに最後の一年まで部活の監督をやらせてもらい、本当に楽しい教員生活となりました。今振り返ってみますと、中学生の時に子供会のソフトボールを教えるように頼まれたのが体育教師としてのスタートだったように思います。高校でラグビー部の吉野先生に出会い、1時間半という短時間の練習で勝つ方法を学びました。大学では、誰に強制されるでもなく、体力をつけるために他の部員よりも長い距離を走るようにしました。

教員生活がスタートしました。新任の時の校長先生から「君はラグビーをやってきたそうだが、小中学校にはラグビー部がないから、どんな部活でもやってみようよ」という言葉をいただきました。その言葉通り、水泳・陸上・野球・柔道・バレーボール・剣道・ソフトテニスとたくさんの部活を担当させていただきました。顧問のやり手のない部活や運営が難しい状況になっている部活をやらせていただくこともありました。

しかし、経験のない種目の顧問をやらせていただいたことは、とてもよい教材研究になりました。授業でどんな種目を行っても、部活動で指導したことのある種目がほとんどなので、指導の内容に自信があり、楽しく授業を行うことができました。今考えてみますと、一つ一つの経験が全てつながっていて、自分という体育教師を育ててくれていたように思います。本当にありがたいことだと思います。

今、部活動が縮小の方向に動いています。学校から部活動が消えようとしています。時代の流れで仕方のないことだと思います。このことを嘆くのではなく、部活以外のものにも楽しさややりがいを見出し、子供を育てつつ自分を育てていくことが大切だと思います。これまでと同じように、「あの先生すごいな」と思わせるものを持ち続けていきましょう。

私は、今まで通り子供との強い信頼関係を持ち続けるために必要なものは、『子供との距離』だと思います。部活動がなくなった分、教室にいる時間を多くし、日記や宿題の点検を今まで以上に大切にしましょう。そして、一番重要になってくるのは授業だと思います。「あの先生すごいな」と思わせる授業になるように日々努力していきましょう。皆様のご活躍をお祈りしております！

学ぶ中で教え、教える中で学ぶ

岡崎市立河合中学校 西垣津 明

今まで多くの子供たち、保護者、学区の方々、そして先生に出会い、たくさんの経験をさせていただきました。皆さんの支えや教えがあったおかげで、ここまで勤めることができました。体育部の先生方においては大変お世話になり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

部活動の地域移行に伴い、部活動の体制が大きく変わろうとしています。体育教師は、部活動にやりがいをもって、今まで子供たちと寄り添いながら個々の成長に関わってきたことと思います。私もこれまで、陸上部、野球部、ソフトボール部、バスケットボール部、水泳部、柔道部、ソフトテニス部といった数々な部活動の顧問を経験させていただき、子供たちとともに成長させていただきました。これから先、部活動に力を注ぐことができなくなることは残念ですが、これからは授業を通して、今まで経験してきた運動の楽しさを子供たちに伝え続けていただけることを願っています。

何かを教えるとき、その経験を通じて自分も何かを学ぶことができます。授業を通して、学級や学年の枠を越えた新しい仲間もつくることもできます。また、誰にでも記憶に残っている先生は、授業を分かりやすく楽しめるようにしてくれた、そんな先生です。どうか授業を大切にして、自信をもって子供たちと向き合い、子供たちに自信と希望を与え続けてください。私自身失敗ばかりの教員人生でしたが、これからも挑戦し続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、岡崎市体育部の益々の発展と先生方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました

岡崎市立竜海中学校 小野内 美紀

新任は緑丘小学校でした。3年生の担任。何の力も知識もない新卒新任で、声とサイズがちょっと大きな私を、子供たち、保護者の方々、職員室の先輩方が温かく迎え入れてくださったことから教員生活が始まりました。幸せなことに、ここから4年間もち上がらせていただき、人生初の卒業生を送り出す経験をしました。

二番目の勤務校は南中でした。1学年10クラス、全校生徒1,000人越えのマンモス校。ここでも私は、生徒や保護者の方々、一緒に働く先輩・後輩の先生方に恵まれ、毎日その日のことしか分からないような忙しさでしたが、充実した楽しい日々を送ることができました。授業について、どうしたらうまくいくか、どういう言葉なら生徒たちができばきと動けるか、何を身に付けてほしいと考えるか、恥ずかしながら5年目にしてやっと保健体育科の授業について真剣に考え、少しずつ分かることが増えていったような気がします。それからずっと中学校勤務でした。

男女共修の時代になり、授業のスタイルや授業者としての考え方など、変えていくべきことがたくさんあります。ICT機器を有効に使う方法も、私には難しいことです。でも、変わらないのは、授業中に生き生きとした瞳でクラスの友達と一緒に精一杯運動している生徒たちの姿や、「上達した」「できた」と実感しているときの何とも言えないうれしそうな姿を見られることが、とても幸せな瞬間であると思えることです。

私と出会ってくださった多くの先生方、事務職員の方々、教員補助の方々、給食配膳員の方々。長い間お世話になりました。皆さんのおかげです。心からありがとうございました。

常に私たちの目指すべき道を照らしていただきました。長年ありがとうございました。